



佐潟通信

2022年8月
78号

佐潟(さかた)は 1996年3月に登録されたラムサール条約湿地です

「ラムサール条約湿地自治体認証制度」に基づく 新潟市の認証について



令和4年5月23日(月)から27日(金)に、スイスのグランで開催されたラムサール条約第59回常設委員会において、「ラムサール条約湿地自治体認証制度」に基づく新潟市及び出水市(鹿児島県)の認証が決定しました。本認証は、「ラムサール」条約の決議に基づき、湿地の保全・再生、管理への地域関係者の参加、普及啓発、環境教育等の推進に関する国際

基準を満たす自治体に対して与えられるものです。日本において、認証が決定した自治体は2市が初めてとなります。これまでに認証を受けた自治体は、世界7カ国18都市で、今回認証を受けたのは新潟市と出水市を含め13カ国25都市です。

佐潟のようす

今年は梅雨明けが早く、夏本番、と思えば、雨が降るはっきりしない天気です。やっと、セミも鳴きはじめました。天気が良い日は日差しが暑く感じますが、潟からの風は心地よいです。

昨年よりイトトンボの仲間が少ない印象ですが、トンボの仲間等が見られます。生態園では6月下旬頃からハンゲシヨウやヌマトラノオなどの水辺の植物が見られます。繁殖に渡ってきたオオヨシキリがヨシ原でにぎやかに鳴いています。また、アジサシの仲間も観察しました。



オオヨシキリ



クロハラアジサシ



ハンゲシヨウ



オオマルバノホロシ



コフキトンボ



コシアキトンボ



シロスジカミキリ



ハス田

佐潟のイベント

【5月28日】

佐潟探検隊（さかたん）
第1回ハスの移植・潟舟体験



子ども通年自然体験事業、佐潟探検隊（さかたん）第1回ハスの移植を開催しました。参加した子どもたちはハスの観察、裸足でハスの移植を体験し、楽しく学びました。潟舟体験は強風のため中止しました。

【6月4日】

初夏の植物観察会



佐潟ボランティア解説員から初夏の植物の自然解説を聞きながら、ゆっくり散策しました。佐潟の自然に親しんでもらいました。

【7月2日】

水辺の生きもの観察教室



参加された小学生9名は、佐潟ボランティア解説員から水辺の生きものの解説を聞き採集、観察を体験し、自然豊かな佐潟の魅力を感じてもらいました。

新型コロナウイルスの感染予防対策等について

新型コロナウイルス感染症拡大防止のためご協力をお願いします。

「マスクの着用」や「手洗い」「3密（密接・密集・密閉）の回避」「換気」など基本的な感染対策を徹底しましょう。熱中症予防のため屋外では、場面に応じた「マスク」の付け外しをしましょう。

「野鳥観察舎ご利用の皆さまへ」

「野鳥観察舎（潟見鳥）」は、4月29日（金）より供用を再開させていただきました。昨年の7月21日より一般利用の停止をしていましたが、環境省の調査により建物安全が確認されました。冬鳥のシーズン等、供用ができず大変不自由をお掛けしました。今後とも皆様に多数ご利用いただきますようお願いいたします。

佐潟水鳥・湿地センター

- 開館時間 9:00～16:30(冬期間 11月から2月の毎土日は早朝 7:00 開館)
- 休館日 毎週月曜日(祝日、振替休日の場合は翌日)12月29日～1月3日
- 交通のご案内 車：北陸自動車道新潟西ICより約20分、巻潟東ICより約20分

野鳥観察舎「潟見鳥」



ラムサール条約の理念に基づき、鳥類などの観察や湿地保全啓発の拠点として、1998(平成10)年5月に開設された施設です。

- 編集 佐潟水鳥・湿地センター
〒950-2261 新潟市西区赤塚5404番地1
TEL025(264)3050 FAX 025(264)3051
E-mail: sakata.wlc@alpha.ocn.ne.jp
- 発行 新潟市西区役所地域課文化・スポーツ担当
〒950-2097 新潟市西区寺尾東3丁目14番41号
TEL025(264)7193 FAX025(269)1650

佐潟についての情報、質問等ありましたら、お気軽にご連絡ください。

◆佐潟水鳥・湿地センター

センターからのお知らせや情報をご覧ください。



◆公式ツイッター

最新の佐潟の情報を紹介しています。

